

日本の落語を獨逸譯

そして發行する計畫で歸國する

七夕のやさしい情調を讚美し

猩を愛して傳説の研究をする

歌を歌はしてその詩境にまよ

究し七夕やうい

情調を讚美し萬葉古

今、金塊の名集に亘つて七夕の

歌を歌はしてその詩境にまよ

究し七夕やうい

歌を歌はしてその詩境にまよ

で今は獨身生活をもつてゐるが十二月の末には八年ぶりで歸國の筈である

東洋婦人會では世界の大勢に鑑み日本支那善の徳ねての趣旨を實現するには此秋あるとの會員

に開催から今度適當の場

に開催する

日本にもこんな面白い境地

になりますからドレイツで發行する

なりますのでこの際著者著述は

私の道樂である同時に、軍國主義のものと如く誤られてゐる

ドレイツは日本人でも平和

笑ひを覺える

伝説があつて日本人でも平和

で、東京盲聴學校の校長は早

速文選者に行つて禮を述べた

れど、盲聴人の喜びは大したもの

である旨意教育令の前進だから

は該運動の目的に就いて述べた

ドレイツは日本語で發行する

日本語で發行する

◆一個の貫流を爲す思想の解決は
人間完成主義にある

近來流行した親愛主義にも賛成せぬ

絶對社會奉仕に

大學教授 加藤唱堂氏談

「何にも私は佛僧ではないので唯

一介の人間として考へた事を語る

演じやうと思つて遣つて来た」

と故國に於て雄辯家で且つ思想

家として穎々青年の訓育指導

に對して常に筆に揮に

奮闘を續けて来た東洋

大學教授 加藤熊郎氏は昨日の

春洋丸にて衆を驚かせるが稍々瘦

形のスラリとした體軀をし

れる良しはラヨウ白毛の見ゆ

日本を忘るゝと云ふ考へ

する所に平常から嗜みが窺は

れ、更に

言葉を續けて「在留同

胞の間に實流して居る思想を見

るも、日本を忘るゝと云ふ考へ

する所に平常から嗜みが窺は

れる良しはラヨウ白毛の見ゆ

日本を忘るゝと云ふ考へ

する所に平常から嗜みが窺は

れる良しはラヨウ白毛の見ゆ

◆御馳走澤山の
北京・社交界

鮮やかな支那

婦人の社交振

中畠書記官夫人談

昨日入港の者洋九にて渡米した

中烟北京公使館書記官の良子

夫人は愛嬌を湛へ乍ら北京の

初つて二月に終りますが

婦人は元より日本の

やかで、英語は實に流暢に話

しゃべり、日本語は實に流暢に話

しゃべりますが、日本語

の活動は水離しがする程に鮮

やかで、英語は實に流暢に話

◆春洋丸の
窒息消毒員を

救つた勇者

木村舵手を表彰

本村木村を表彰

◆OMAR
CIGARETTES
甘本入甘仙(舊下)

オマーリー 卷煙草

甘本入甘仙(舊下)

オマーリー 卷煙草

小夜寺澤琴風

惡食物語(三)

米會寫真館

かまぼこ
水晶印形取次
英語教授

金門商會

御祝御佛事用

年末大賣出

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●